

ヘルプネットの使い方

ヘルプネットとは

ヘルプネットとは、万一の事故や急病時に専門のオペレーターに接続し、自動で送信された車両位置情報に基づいて緊急車両を手配するサービスです。住所がわからない場合でも迅速な緊急車両の手配ができます。

1  2  3 

カーナビの「MENU」ボタンを押す
(標準装備・メーカーオプションナビの場合「情報・TC」ボタンを押す)

「T-Connect」にタッチ
(ナビにより表示されません)

「HELPNET」にタッチ



〈エアバッグ連動タイプ・ワンタッチタイプ(専用ボタン付)の場合〉

車内天井部にある、ハードスイッチ型ヘルプネットボタンのカバーを開いてボタンを押します。
(①～③の操作は必要ありません。)

4  5  6 


ヘルプネットセンターへ接続を開始し、緊急通報が開始されます
※DCM単体の場合、ナビ画面の表示はありません。

ヘルプネットセンターに車両の位置などが送信されます

オペレーターに、状況やケガの症状、警察・消防への通報が必要かどうかを伝えてください

7

必要に応じて、ヘルプネットセンターが警察または消防に接続します

8 

緊急通報時には、ヘルプネットセンターのオペレーターは、通報者の応答が取れた時に関係機関に通報します。

通話終了後、しばらくの間は呼び返し待機状態になります



ヘルプネットの通話終了後、スマホ・ケータイ接続の場合約10分間、DCMパッケージ/DCM単体の場合、約30分間はT-Connectのサービスが利用できません。ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせに備えて待機状態になります。